

**KYOTO
UNIVERSITY
OF ART
& DESIGN**

京都造形芸術大学

GUIDE BOOK 2017



「藝術立国」 「京都文藝復興」 という理念のもとに

京都造形芸術大学は2017年に学園創立40周年を迎えます。創立100年以上という大学も少なくない中で、まだまだ新しい大学と言えます。しかし、現在、国内外の様々な場所で京都造形芸術大学が注目されています。

「日本最大規模の芸術大学」

造学部、通信教育部を合わせて約3万人が集う日本最大の芸術大学として、他に類をみない芸術教育を展開しています。

「地方創生の旗手として活躍」

隠岐島士町、小豆島など「地方創生」で注目を浴びる地域の活動の裏には、いつも京都造形芸術大学の在學生・卒業生・教職員が活躍しています。

「国際社会を牽引する」

ALIA(アジア芸術教育協議体:2012年設立)の副理事長として、アジアの芸術大学ネットワークの中心的存在に、芸術を通じて、アジアの平和創造を目指しています。

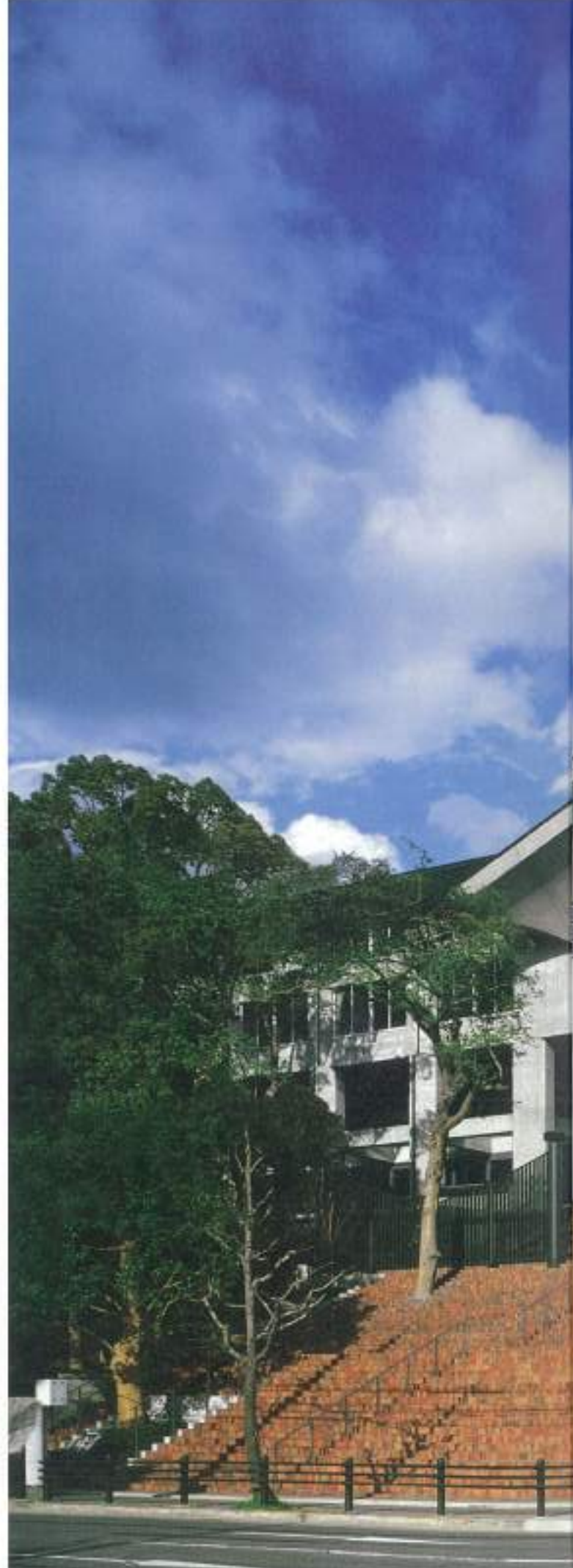
「社会の課題解決への取り組み」

企業や自治体などからいたる様々な課題を、プロジェクトや「ウルトラフクトリー」で、学生がアートやデザイン力で課題解決に取り組んでいます。

「期待の若手クリエイターを続々輩出!」

国内外の映画祭で受賞する女優、広告賞を総なめにするCMディレクター、卒業後すぐに国際社会を舞台に活躍するアーティストなど、「あの人も京都造形芸術大学出身!?!」という話題で業界の注目を浴びています。

これらの活動は、すべて私たちの大学の理念のもとに行われています。「藝術立国」「京都文藝復興」という理念のもとに、この京都からアートとデザインを学んで、社会をよりよく変える学生をこれからも輩出していきます。



3つの工房で挑む、
立体造形への追求。

05

総合造形コース

p.56

伝統に触れ、先端を知る。
手仕事は裏切らない。

04

染織テキスタイルコース

p.54

01

日本画コース

p.48

空気感をも描く画力で、
したたかに、より自由に。

03

写真・映像コース

p.52

技術と理論を背景に、
「世界標準」の表現者へ。

02

油画コース

p.50

描くことは生きること。
自分なりの表現を喜びへ。

美術を基礎から徹底して極める。
無限の可能性が広がる「0美術」。

06

基礎美術コース

p.58

13 学科 22 コース

「映画演技」を通じ、
演技者としての人間力を養う。

16

俳優コース

p.82

15

映画製作コース

p.80

映画学科
集団で行う映画製作から、
社会との関わりを学ぶ。

映画学科

空間演出デザイン学科

p.72

12

空間デザインコース

ものづくりから、しくみづくりへ。
空間デザインは新しいデザインへ。

13

ファッションデザインコース

p.74

技術を究め、身体を知り、
人と人との関係性に未来を描く。

文芸表現学科

p.88

読み、書き、編み、
ことばと物語を扱うプロになる。

19 クリエイティブ・ライティングコース

環境デザイン学科

14

建築・インテリア・
環境デザインコース

p.76

人が環境と生きる、
すべての場所をデザインする。

08 キャラクターデザインコース

万物に命を見出し、
人間を、そして世界を学ぶ。

07

在学中のデビューを目指して、
プロの作家を育成する。

p.62

11 プロダクトデザインコース

使う人の気持ちを考え、
新しい道具を創造する。

アートやデザインをはじめ、映画、舞台、文芸、歴史遺産まで、京都造形芸術大学で学べる領域は、とにかく多種多様。それぞれのコースで基礎から実践に続く専門的なカリキュラムが用意されていて、どのコースで学んでも、社会で活躍する力を養えます。

イラストレーションで、
社会をつなぐ。

10

イラストレーションコース

p.68

09

情報デザイン学科

ビジュアルコミュニケーションデザインコース

デザインの力で、
日常そして社会を豊かにする。

p.66

あなたの未来を拓く、

子どもの未来を考えること。
それは私たちの未来を考えること。

p.92

21

こども芸術コース

教科書は、本物の文化財。
千年の都で知識と技術を磨く。

p.94

22

文化財保存修復・歴史文化コース

教室は、本物の劇場。実戦
経験から、確かな技術を学ぶ。

18

舞台デザインコース

p.86

17

演技・演出コース

演劇は生きている芸術。観客
に全身で語る表現者になる。

p.84

アートの現場をつくる。
アートで社会をつくる。

20

アートプロデュースコース

明るい未来へと続く、
22の扉を開けてみよう！



講堂

入学式や「京語むすび」の点灯式など、行事の会場となる講堂。昼間は体育の授業に、夕刻からはサークル活動で使用されています。日中ひかたが産の桜木のアーチも注目。



千秋堂

1960年につくられた講千堂・千原堂家元の茶室「偶々庵」。当時の姿をほぼ原形通りに移設し、再現されました。歴史遺産学科の授業の場としてなど、活用されています。



楽心荘

瓜生山の斜面に位置する京風の美形を誇りつづられた。全国でもめずらしい常設の野外舞台。瓜生山に響く赤松が舞台背景となり、歌舞会を盛り上げに彩り立っています。

便利で魅力的な施設がこんなにあります！



映画スタジオ

「学生たちの手により自主管理される日本で初めての学生専用スタジオ」がコンセプト。スタジオ・稽古場・試写室・編集ルームまでも揃ったリアルな映画製作の現場です。



図書館

学生はもちろん、地域に開かれた施設として2001年に開館。芸術文化、美術、デザインなどに関わる図書資料を提供しており、定期的に企画展なども開催されています。

3

多種多様な サークル活動

バドミントンやスキーといった体育会系サークル、能や和太鼓など伝統芸能を楽しむサークル、写真やヌードデッサンなど制作系のサークルと、大学公開サークルの数は体育会系と文化系を合わせて全部で30。日本の大学の中でも数少ないタイプのサークルもいくつもあり、日々積極的に活動しています。学科や学年を越え、同じ趣味を持った者同士での交流は、プロジェクトや授業とはひと味違う楽しさがあるはず! 興味のあるサークルがあれば、メンバー募集のポスターをチェックしてみましょう!



メンバー募集を呼びかけるポスターも、長大ならでの高いウォリテ



入学式で演奏するなど、学内外問わず活動している「和太鼓」サークル



鳥根原西部に伝わる「石見神楽」に原形を「京都瓜生山舞子連中」サークル

体育会系

- 男女バスケットボール部 ○水泳部 ○サッカー部 ○バドミントン部 ○バレーボール部
- 自転車部 ○スキー部 ○卓球サークル ○古典道玄流柔道研部

文化系

- 和太鼓 部 ○特色女劇団 ○長唄三味線部 文山会 ○軽音楽部 ○能楽部 楽心会 (うたみ(会場)) ○京都瓜生山舞子連中 ○楽道サークル SAKU ○茶道部 ○漫画研究会 K-BOX ○写真部 ○ヌードデッサン部 ○古美術研究会リッパリッパ ○ヤムチック部 ○京都.com ○スタジオカラス(アニメーション) ○LEGO部 ○麻雀部 ○JAZZ研究会 ○JUNKMACHINEGUNS(イベント企画) ○藝術平和山部



Studio21

現代演劇・ダンスの上演を想定してつくられた小劇場。自由に表現するための照明設備や音響装置も万端。主に舞台芸術学科の学生の学びの場、公演の場として使用されています。



版画工房

版画による表現を追求できる工房。美術工芸学科の学生をはじめ、様々なコースの学生が出入りし、作品制作のために活用しています。



フォトラボ

モノクロカラーの大型プリントやインクジェットによる80割の大型出力など最新のデジタルフォトに幅広く対応するマルチ機能、カメラやレンズ、ストロボなどの機材も揃っています。



プロダクトファブ

プロダクトデザイン学科が所有する工房。通称「FAB(ファブ)」。技術が豊富で、制作指導やサポートも行っており、課題のみならず個人制作の場所としても使用可能です。



アブリコ室

プロキタからの最新鋭の機材が揃うアブリコ室。声優の勉強や自費・自費の演出などに使われており、プロ意識を高めるが技術も磨かれます。